

医動物・種類同定検査結果(平成31年4月～令和元年6月)

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

平成31年4月から令和元年6月の3か月間の、種類同定検査件数は、昆虫類1件(ハチ目)、その他の節足動物1件(ダニ目)でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等	写真 (状態、体色、大きさ)	同定結果	生態・その他
翅アリが 2 階の窓サッシ付近で死んでいる。 (5 月)		ヤマアリ亜科の一種 (ハチ目)	温帯地方では大型で活発な種類を含み、地上活動性の種も多い。営巣場所は多くの種では地中である。 アリ類では決まった時期に無数の有翅虫(雌雄成虫)が結婚飛行のため巣から飛び立つ。種類によって結婚飛行の時期は異なる。飛行を終えた雄成虫は、灯火、窓際に多数飛来し、不快害虫となることが多い。
	有翅虫(雄)、黒褐色、2mm		
自宅一室のカーペットに多数の虫がみられる。 (4 月)		クローバーハダニ (ダニ目)	イネ科、クローバー、イチゴ、キャベツなど多くの植物に寄生する。しばしば人家に侵入し、不快害虫となることがある。世界に広く分布する。
	成虫、赤褐色、0.8mm		

【 微生物検査研究課 医動物担当 】